

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	平成27年2月6日 第66号
件 名	現在の柳町小学校教室等増設整備方針の中止を求める請願
請 願 者	文京区小石川一丁目27番1号 柳町小学校卒業生とその保護者がつくる子ども たちの未来を考えるやなぎっこの会 代表 早藤 眞 司 外1名
紹介議員	萬 立 幹 夫 田 中 和 子
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	文 教 委 員 会

請願理由

文京区の小学校においては、狭い運動場が問題になる学校が少なくない中、現在の柳町小学校は自然環境と調和し校庭面積も確保された小学校です。

そうした教育環境は柳町小学校の魅力であり、特に長い年月をかけて成長した「やなぎの森」は一人一木活動をはじめとし、四季折々の森の観察や森での活動を通し「土の校庭」と相まって、子どもたちに命を感じる体験を提供してきた極めて重要な教育資源となっています。

学習指導要領でも、「自然環境を大切にし、その保全に寄与しようとする態度を養う必要性」は、生活科、理科、道徳、環境教育面から繰り返し訴えられています。特に理科の勉強においては、「身近な自然について児童が自ら問題を見出し、見通しをもった観察・実験などを通して問題解決の能力を身に付ける」ことの大切さが大きく謳われています。

現在の柳町小学校には、電車賃を使って遠くまで足を運ばなくても、すぐ目の前に「森」という、上記教育内容を可能とするすばらしい教育資源があるのです。文京区基本構想の基本的取組に明記されている「子どもたちが、のびのびと学校生活を送れるような教育環境」を備えた学校が、正に現在の柳町小学校とも言えます。

しかしこの度、児童数の増加に伴い不足する教室の増設をするにあたり、区がまとめた整備方針は、この柳町小学校が長年大切にしてきた運動場を今よりもっと狭くし、さらに大切な教育資源である「森」もなくす内容となっており、とても容認できません。

このように、良好な柳町小学校の教育環境を「校舎の増設」を理由に子どもたちから取り上げてしまうのは、「子どもたちに、良好な教育環境を提供する」としている区の約束に反しますし、ひいては国の初等教育の方針にも反するものと言っているのではないのでしょうか。

文京区教育委員会は、「徒に議論を長引かせるよりも、迅速な計画実施を」また「増設校舎の建設期間を短く」する必要を繰り返し主張されますが、一度なくしてしまった「森」は二度と復活しませんし、縮小した運動場を戻すこともできません。

急いで計画に着手するのではなく、今一度、児童・保護者・地域住民等の意見に耳を傾け、これから何十年と続く柳町小学校において、学ぶ子どもたちにとって何が最善の教育環境なのか再考いただきたくお願いいたします。

請願事項

- 1 現在の柳町小学校教室等増設整備方針計画の中止を求めます。
- 2 教育環境が悪化しないように「やなぎの森」を残し、かつ、現在とほぼ同程度の校庭面積を確保できる整備方針計画への変更を求めます。